

「お客様へ安心と快適な居住空間のご提供」の更なる向上にエコステージを導入

カンパネ株式会社（本社：東京都墨田区 海野 俊一社長 創業昭和54年 従業員30名
<http://www.kanpane.co.jp/>）は、マンション等の集合住宅における給排水装置の修理・交換などを手がけ、毎年「事業発展計画書」を作成し、社員の意識を高めています。当初は貯水槽の清掃が主な業務でしたが、貯水槽やその周辺の配管、ポンプなどの修理や交換なども行うようになり、次第に事業を拡大して現在に至っています。当社は「水」を通じて、「お客様へ安心と快適な居住空間をご提供」を旗印に、技術の向上、品質の向上、安全の優先を理念とし、サービス向上を行っています。2007年8月30日、エコステージ1の認証を取得。経営企画室長で環境管理責任者の本多 紳氏にエコステージ導入の目的と、取り組み内容、そして効果についてお聞きしました。

<エコステージ導入のきっかけと、目的をお教え下さい。>

本多氏：当社がかねてより環境に対する意識は高かったものの、成果が形として現れていませんでした。そのため、社内全体の環境に対する意識が低下しつつあり、無駄な作業や事務用品等の使用が目立つようになってきました。そうした背景があり、小規模企業でも、段階的に無理なく安価で認証取得できるというエコステージを導入するに至りました。

<具体的な活動内容を教えてください。>

本多氏：①整理・整頓、清掃、清潔、しつけ（5S活動の継続的推進）②省エネルギーの推進
 ③省資源の推進④廃棄物の削減とリサイクルの推進 の4点です。

<エコステージ導入による変化や、具体的な効果はございましたか？>

本多氏：【定性的効果】環境管理委員会を発足し、メンバー6名が中心となって具体的取組み事項を示した「社員行動基準」の作成や、エコステージ専用掲示板の設置により、社員の意識が少しずつ高まってきたようです。取組みに関する研修会も実施し、定着しつつあります。また、こうした取組みは当社内部だけのものに留まらず、協力会社にも同様に取組んでもらうため文書で通達し協力をお願いしました。

【定量的効果】全体的なコストに関しては、約4ヶ月経過した時点では、まだ効果は出ていません。社内改装等の費用も嵩み、加えてエコステージの取組みにともなう備品等を一新したこともあり、効果はこれから年末に向けて少しずつ表れてくると思います。

<活動の中で、ご苦労された点・難しかった点などがございましたか？>

本多氏：「法的及びその他要求事項」の資料作成に苦労しました。遵守事項が多く、完全なものに仕上げるのが今後の課題であり、それに向けて取り組んでいる最中です。また、取組み課題に対して事務所内ではほぼ徹底できていますが、現場における取組みに不十分な点があり、これをどのように意識付けていくか難しいところです。そうは言っても、以前に比べれば整理・整頓は改善がみられます。

<それでは、今後の取り組み計画をお聞かせ下さい。>

本多氏：今、世の中では環境に対する配慮が強く求められており、正に環境経営は私達の使命です。そのために「環境経営」は継続的な活動として取り組んでいかなければなりません。そのための手段としてエコステージ2へステージアップして行きます。



<社長によるエコステージ宣言>

カンパネ株式会社
 Kanpane

業務案内
 設備保全マニュアル

トップページへ > トピックス一覧 > エコステージの推進

エコステージの推進

平成18年11月から、環境経営「エコステージ」の認証取得に取組みます。

これからの企業は品質だけでなく、環境への取り組みの有無についても社会的に重要視されています。

こうした背景からカンパネにおいても「環境経営「エコステージ」」に取組むことになりました。

エコステージは、中小企業による環境経営「エコステージ」の認証取得に取組みます。

<HomePageでエコステージ活動の展開>

<皆で清掃活動>